

[いすゞ] エンジン DPD 強制再生/DPD 強制ゆっくり再生

概要

DPD 強制再生/DPD 強制ゆっくり再生は以下の場合に行います。

- DPD フィルタに一定量の PM が堆積して、PM を燃焼する必要がある場合
- DPD フィルタ等の状態を確認する場合

手順/操作

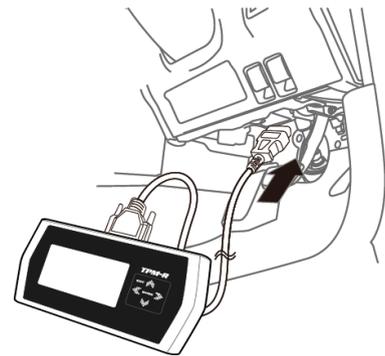
注意： ● 強制再生を行う前に、DPD 再生データのリセットを行って下さい。

参考：

- シフトレバーを P レンジ(AT 車)またはニュートラル(MT 車または、P レンジのない AT 車)の位置にし、パーキングブレーキをかけます。
- エンジンをアイドリング状態にし、アイドリングコントロールノブによってエンジン回転数を上げている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げてください。
- アイドリングストップ装着車は、アイドリングストップスイッチを「OFF(解除)」にします。
- PTO 装着車は、PTO 作動を停止させます。

1.

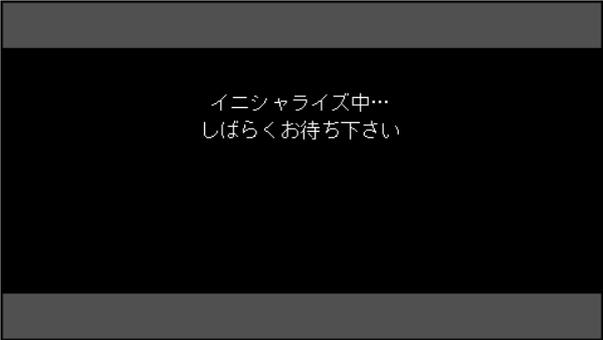
イグニションスイッチを OFF 位置にした後、ダイアグコネクタに TPM-R を接続します。本体の電源が入らない場合、シガーライターケーブルを接続します。その後、イグニションスイッチを ON にします。

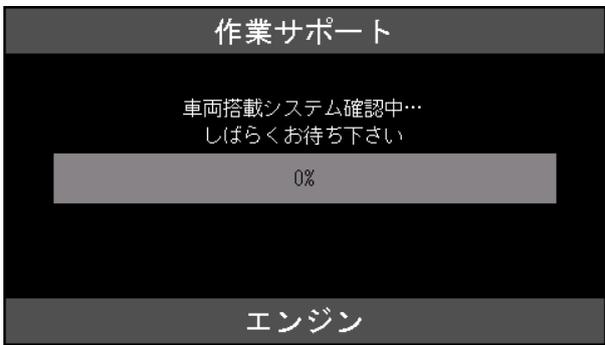
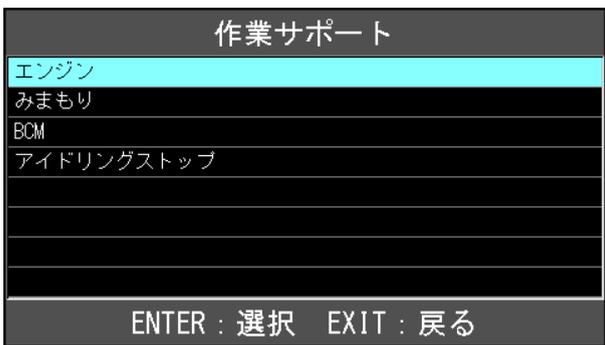
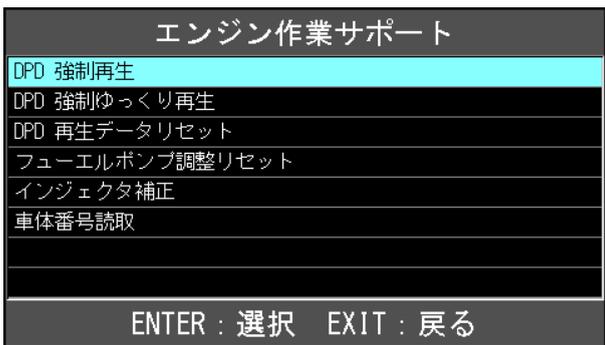
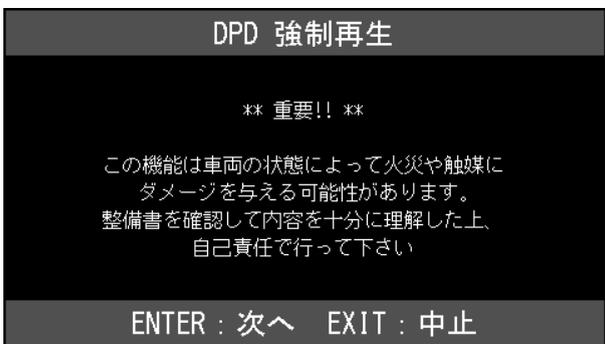


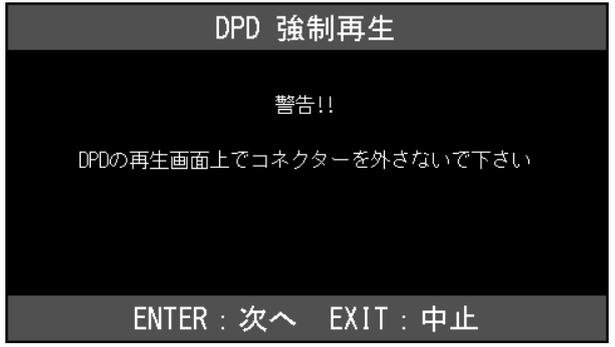
2.

『メーカー選択』画面から
〔国産トラック〕 - 〔いすゞ〕 を選択して
〔ENTER〕 を押します。



<p>3.</p>	<p>車両情報を特定するための通信をしていますので、しばらくお待ち下さい。</p>	 <p>イニシャライズ中… しばらくお待ち下さい</p>
<p>4.</p>	<p>『車種選択』の画面が表示されますので、順番に選択して下さい。</p>	 <p>年型選択メニュー</p> <p>2007 2008 2009 2010</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
 <p>車種選択メニュー</p> <p>エルフ (N**/A**/B**/L**)</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	 <p>エンジン選択メニュー</p> <p>4JJ1-TC (C/Rail_NLT)</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	
 <p>スモーター選択メニュー</p> <p>Smoother/Smoother-Ex Smoother-E Auto Shift AT A460</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	 <p>BCM選択メニュー</p> <p>BCM BCM (CNG HYBRID)</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	

<p>5.</p>	<p>『いすゞメインメニュー』画面で、 〔作業サポート〕を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>いすゞ メインメニュー</p> <p>診断 作業サポート アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>6.</p>	<p>車両搭載システムの確認が始まります。</p>	 <p>作業サポート</p> <p>車両搭載システム確認中… しばらくお待ち下さい</p> <p>0%</p> <p>エンジン</p>
<p>7.</p>	<p>『作業サポート』の画面が表示されましたら、 〔エンジン〕を選択して [ENTER] を 押します。</p>	 <p>作業サポート</p> <p>エンジン みまもり BCM アイドリングストップ</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>8.</p>	<p>『エンジン作業サポート』の画面で、 〔DPD 強制再生〕を選択して [ENTER] を押します。</p>	 <p>エンジン作業サポート</p> <p>DPD 強制再生 DPD 強制ゆっくり再生 DPD 再生データリセット フューエルポンプ調整リセット インジェクタ補正 車体番号読取</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>9.</p>	<p>実行前にメーカー発行の整備書を 必ず熟読して行って下さい。 この画面は 3 秒間保持されます。 3 秒以内に操作しても操作できません。</p>	 <p>DPD 強制再生</p> <p>** 重要!! **</p> <p>この機能は車両の状態によって火災や触媒に ダメージを与える可能性があります。 整備書を確認して内容を十分に理解した上、 自己責任で行って下さい</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p>

<p>10.</p>	<p>警告画面が表示されますので、確認してからエンジンを始動します。その後 [ENTER] を押して下さい。</p>	 <p>DPD 強制再生</p> <p>警告!!</p> <p>DPDの再生画面上でコネクタを外さないで下さい</p> <p>ENTER : 次へ EXIT : 中止</p>
<p>11.</p>	<p>エンジンが始動しているか確認の画面が表示されますので、下のゲージが一番右に到着するまでお待ち下さい。</p>	 <p>DPD 強制再生</p> <p>確認!!</p> <p>エンジン回転数 (450-750 RPM)</p> <p>エンジン回転数: 599 RPM</p> <p>EXIT : 中止</p>
<p>12.</p>	<p>画面に従って車輛の DPD スイッチを押して下さい。</p>	 <p>DPD 強制再生</p> <p>DPDスイッチを押して下さい</p> <p>エンジン回転数: 600 RPM</p> <p>排気温度2 (酸化触媒前)</p> <p>排気温度1 (フィルター前)</p> 
<p>13.</p>	<p>排気温度が低い場合にこの画面が表示します。暖気後自動的に次の画面に切り替わります</p>	 <p>DPD 強制再生</p> <p>暖気中です</p> <p>エンジン回転数: 530 RPM</p> <p>排気温度2 (酸化触媒前)</p> <p>排気温度1 (フィルター前)</p>

<p>14.</p>	<p>排気温度が低い場合にこの画面が表示します。 暖気後自動的に次の画面に切り替わります。</p>	
<p>15.</p>	<p>DPD 強制再生中です。 *強制再生は約 30 分、 強制ゆっくり再生は約 120 分かかります。 *下のゲージ(排気温度)が 8 割以上の高温になりましたらエンジンを停止し、DPD 再生を中止して下さい。(ゲージが右いっぱいにある状態が 1000℃になります)</p>	
<p>16.</p>	<p>アクセルペダルを踏み、エンジン回転を 2000rpm ±50rpm 以内に調整して下さい。 *車両、年式またはエンジン型式で浄化判定のエンジン回転数の指示が変わります。</p>	
<p>17.</p>	<p>「再生完了」の画面が表示されましたら、 [ENTER] または [EXIT] を押して 終了します。</p>	

〔診断〕 - 〔全自己診断〕 - 〔診断結果〕 - 〔エンジン〕 - 〔データモニタ〕と
 選択してから、データモニタの画面で、
 「排気温度 1 (フィルタ前)」のデータを
 表示します。排気温度 1 が下記の表に書かれてい
 る温度以上の場合、アイドリング状態(下記のエ
 ンジン回転数)でエンジンを冷却して下さい。
 (アイドリングコントロールスイッチを使用して
 上げます)

排気温度センサ1(フィルタ前)	4.5 V
排気温度センサ2(酸化触媒前)	4.5 V
排気温度1(フィルタ前)	100 °C
排気温度2(酸化触媒前)	75 °C
EGR 開度	0 %
EGR/リノイト 駆動デューティ	0 %
EGRホッティング1	ON
EGRホッティング2	OFF

データ保存 印刷

18.

車種	エンジン型式	排気温度 1 (フィルタ前)	エンジン回転数
エルフ	4HL1(NA)	180 °C	1500 rpm
	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm
	4JJ1-TC	140 °C	1500 rpm
フォワード	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm
	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
ギガ	6UZ1-TC	120 °C	1000 rpm
	6WG1-TC	100 °C	1000 rpm
エルガ	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
エルガミオ	6HK1-TC	100 °C	1000 rpm
	4HK1-TC	150 °C	1500 rpm

以下の場合にはエンジンオイルを交換して下さい。

参考 :

- エンジンオイル量を点検し、エンジンオイルの量が多い場合。
- DPD 強制ゆっくり再生完了後。

エラー

通信に失敗すると、右の画面が表示されます。
整備書で条件などを確認して、
もう一度行って下さい。

